

不妊治療の保険適用が始まり、より一層不妊治療の需要が増加し生殖医療に携わるエンブリオロジストのニーズも拡大しています。エンブリオロジストは胚や卵子だけではなく、「精子について知る」ことも非常に重要であり必要不可欠です。今回、兵庫医科大学医学部産科婦人科学講座主任教授の柴原浩章先生の精子学に対する熱い思いから、『はじめての精子学』が出版されました。精子学に関する幅広い知識がわかりやすくまとめられ、精子学に対する理解を最大限に深めることができる大変勉強になる一冊です。手に取りやすい体裁で、パッケージも程よくカジュアルになっています。「精子についてもう一度勉強したい方」「精子学について苦手意識を持っている方」など精子学について様々な思いを持っているエンブリオロジスト皆様の知識の参考として頂ければ幸いです。

